

指導者 &
保護者の
みなさまへ

指導者 & 保護者のみなさまへ①

さまざまなものがインターネットにつながっている現代。私たちは、スマートフォン、タブレット、ゲーム機のような通信機能をもつ機器でさえ「つながっている」ことを特別に意識することもなく利用しています。

低年齢の子どもたちは、そんな時代に生まれ、そんな大人たちを見て育っていて、デジタル機器には興味津々。でも、使用には「つながっていることによるキケン」「不適切な内容」「依存」「健康やカラダへの影響」といった心配がつきものです。



指導者 & 保護者のみなさまへ②

小学校・幼稚園・こども園・保育園・幼児教室で友だちと、ご家庭で家族と共に、楽しく学べる教材を作りました。幼い子どもにも理解できるように、**「いいこと」と「悪いこと」をはっきり区別した簡単な内容**となっています。

この教材を使う際に、**ネットの深い知識は不要**。最初は、会話をしながら子どもと一緒に楽しんでみてください。操作になれてきたら、子どもたちだけでもOK。『どうぶつの町』の仲間とで楽しく遊びながら、「ネットの〇と×」の感覚を身につけましょう。



内容のご紹介①

『どうぶつの町でトラブルがおきた！ ～スマホやゲームの使い方、キミならどうする？～』は、タイトルのとおり、動物の子どもたちのプチ・トラブル体験をとおして、**ネットでやって「いいこと」と「悪いこと」を知るための教材**です。

ミニドラマと体験ゲームは、1本5分程度。1人で使えばあっという間ですが、途中で手を休めながら、何人かで考えたり話し合ったりしながらのほうが効果的。

その内容と使い方の例を、ご紹介します。



内容のご紹介②

どうしてあぶないの？

楽しく見ながら学ぶことができるドラマです。ルール、個人情報、時間やパスワードの管理ほか、10本の教材を視聴できます。

へんしん！どうぶつたいそう

動物に変身して、目、首、肩、背筋など、デジタル機器の使用で緊張した部分をほぐす体操ができます。

どうぶつの町でトラブルがおきた！

スマホやゲームの使い方、キミならどうする？～

i-RO
[I-RO]
みんなで考えよう！インターネット安全

どうしてあぶないの？

たいけんゲームをしよう

へんしん！どうぶつたいそう

つくってみよう！

たいけんゲームをしよう

体験しながら考え、学ぶゲームです。子どもにも意識してほしい「パスワード」「個人情報」「写真提供」の3本が体験できます。

つくってみよう！

収録データをプリントすれば、ドラマや体操に登場した動物たちのお面づくりができます。（手づくり工作）

小学校で(低学年)


幼稚園・こども園・保育園・幼児教室などで

ご家庭で

小学校で（低学年）

- 朝読書のように短い時間で行う場合、ミニドラマを1本見て「いっくんやねねちゃんはどうすればよかったの？」をみんなで考えましょう。
- 総合的な学習や道徳などの授業では、アクティブラーニングの教材としても使えます。（低学年でも可能／発表の際にお面で寸劇もあり）
 - ▶ 席の近い友だちと、あるいはグループに分かれて、ミニドラマや体験ゲームをしながら「何が危ないのか」「どうすればいいか」などを話し合っって考えさせる。
 - ▶ 担当のミニドラマを決め、グループワークをして内容について発表させる。
 - ▶ 9本の体操をしながら、「どこがほぐれるか、気持ちがいいか」を考えさせる。
⇒ミニドラマや体験ゲームの合間に、体操をはさむことも大切。
- 5～6年生がグループでひと足先に学び、先生となって下の学年に教えに行く方法も。これなら、高学年への学習効果も期待できます。

幼稚園・こども園・保育園・幼児教室などで

- ミニドラマを紙芝居のように見せ、一時停止を利用して「みんなだったらどうする？」「先生もやったことがあるなあ」などと語りかけながら進めてみましょう。
- 体験ゲームは、選択肢のどちらを選んでも、もう一方の結果が見られます。「みんななら、どっちがいい？」「どうして？」などと質問しながら進めれば、「○の行動」と「×の行動」が正しく学べます。
- TVドラマのエンディング・ダンスのように、1～2本終わるごとの体操をお勧めします。デジタル機器の利用で緊張した部分をほぐすだけでなく、連続で長時間使わない習慣づくりにもつながります。
- ミニドラマの劇や、どうぶつ体操をするときに、キャラクターのお面を有効にご活用ください。（ハサミは指先を使う作業なので )

ご家庭で

- 子どもだけでも使えますが、最初のうちは大人と会話をしながら使うようにしましょう。どんな風に考えながら使えばいいかが伝わります。
- 幼児と楽しむ際は「お膝の上に抱っこ」スタイルがお勧めです。
- 小学生は、内容について話し合ったり、子どもに質問したりしながら進めてください。1本5分で流すだけでは、なかなか身につけません。
- 体操は、普段の動画視聴やゲームの後にもご活用ください。目の体操（アイアイ）や首の体操（シマフクロウ）だけでも、疲れがいやされます。大人も気持ちがいいので、親子で体操もいいですね！
- お父さんやお母さんだけでなく、お兄ちゃん・お姉ちゃんに教えてもらいながら、おじいちゃんやおばあちゃんと一緒に考えながらなど、いろいろ工夫してみてください。